

車中避難とは

車中避難とは、災害時に自宅に住み続けることが困難になった際、指定避難所や親戚・知人家へ身を寄せる代わりに、自家用車で寝泊まりし、車を生活の拠点として避難生活を送ることです。避難生活におけるプライバシーの確保やペット同伴避難が可能で、感染症予防にも有効です。

車中避難のメリット・デメリット

メリット

- 避難所の共同生活空間に比べ、個人の空間を保つことができプライバシーが確保される
- ペットと一緒に避難生活を送ることができる
- 避難所内の閉鎖的な空間よりも感染症を予防することができる

デメリット

- 座席などで同じ姿勢を続けることによるエコノミークラス症候群の危険性がある
- 避難者の状況やニーズを把握しにくく、支援がうまく届かない可能性がある
- トイレ、給水、電源など生活環境の整備ができておらず利便性が悪い

カーシェルター野水は車中避難の不安を解消！！

カーシェルター野水では、避難者が快適に車中避難生活を送れるようトイレとシャワー室を設置し、万々に備えてマンホールトイレを8基設置しています。

マンホールトイレは、災害時に専用のマンホール上に便座とテントを設置して、し尿を直接下水道に流すことができ、断水時にもトイレを使用することができます。

また、防災資機材倉庫を併設しており、地域防災拠点として運用することで避難者ニーズにも的確に対応することができます。

防災資機材倉庫には、エコノミークラス症候群対策として弾性ストッキングを備蓄しており、健康面にも配慮しています。

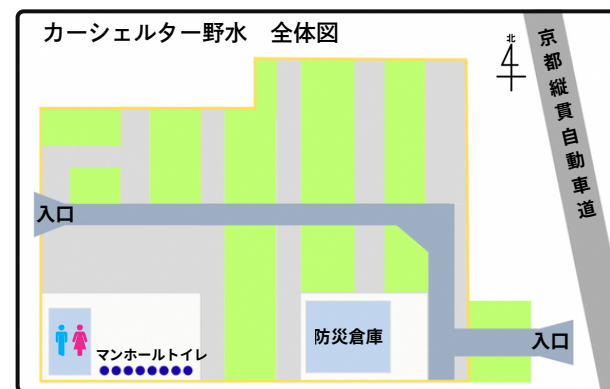


エコノミークラス症候群を予防しましょう

車などの狭い座席に長時間座って足を動かさないでいると、血行不良が起こり、様々な健康被害をもたらします。

こまめに足や体を動かし、血流を良くして、水分補給をしましょう。

必要に応じ、弾性ストッキングを着用して、足の血流をサポートしましょう。



所在地 亀岡市吉川町穴川野水15番1外



カーシェルター野水 車中避難場所



車両収容台数 **195**台

トイレ・シャワー室完備
マンホールトイレ8基設置



大規模災害に備えた地域防災拠点「カーシェルター野水」

大規模災害時に緊急的に避難する避難場所の確保と避難生活におけるプライバシーの確保やペット同伴避難など多様化する避難者ニーズに対応するため、車中避難専用の避難場所「カーシェルター野水」を整備しました。

カーシェルター野水には、応急対策に必要な防災資機材倉庫を整備し、緊急避難場所としての利用はもちろんのこと、地域防災拠点として活用していきます。



防災資機材倉庫